

聴覚コミュニケーション研究会 原稿テンプレート

音声 太郎

所属（あるいは元所属） or 連絡先

E-mail Address

あらまし：聴覚コミュニケーション研究会投稿原稿の様式を説明する。この様式はそのままテンプレートとして利用できる。（英文キーワードは残しアブストラクトは省略できる）

キーワード：投稿原稿、著作権、原稿の様式、

Template of Research Paper for Meetings of Auditory Communication Group, JES ONSEI, Tarou

Abstract: This paper describes the format of manuscript for contributors to the meetings. This format can be used as a template of the contributions.

Key Words: Manuscript, Publishing Right, Paper Format.

1. はじめに

この様式は、日本人間工学会聴覚コミュニケーション部会（AEG JES）研究会投稿原稿の様式に関するものである。

2. 投稿原稿の種類

ここでの投稿原稿の種類は、総説、論文、短報、資料、技術報告とし（以下論文等という）、原則として、研究会の趣旨に則る内容の未発表のもので査読対象とはしない。各研究会開催機関・研究会運営責任者により採録可否が決められる。研究会運営責任者からの問い合わせにはできる限り速やかに応答し運営にご協力願いたい。

3. 著作権

著作権は、著者と当部会に所属する。当研究会成果の記録保存上、著者が、著作・原著論文その他に、当研究会資料の引用をした場合、書面にて当部会幹事会（主催側事務局窓口）に届け出ること。著作者の著作の引用・使用許諾の引き合いの生じた場合は相互に協議して対応を決める。

4. 原稿の作成

原則 MS ワードプロセッサ（MSWP）によるテキストスタイルあるいは PDF 原稿とする。MSWP 以外の場合は、研究会運営責任者に問い合わせること。

5. 投稿

5.1 原稿の送付

e-mail 添付ファイルにて送信投稿（PDF）と並行して、テキストスタイルに記録した電子媒体とプリント原稿 1 部を期日以内に、各研究会開催機関研・究会運営責任者に送付すること。

5.2 投稿原稿の様式

基本は日本人間工学会編集委員会：「人間工学」誌投稿規定¹⁾によるが、原稿の様式は、このテンプレートを用いればそのまま適用される形になる。（学会様式とは、紙幅の関係で改行等細部での相異がある）

このテンプレートの様式を以下に示す。

用紙：A4 版

ページ数： 図表・文献を含めて 6 頁以内

ページ設定：

余白 上 25mm.

下 20mm.

左右 各 20mm.

文字数：フォントにより定まる値.

フォント：

和文 MS明朝、英文 Century

和文表題 16P、和文副題 12P、

和文氏名・所属・メールアドレス 12P、

英文表題 16P、英文氏名 10.5P、

Abstract/Key Words 10.5P

本文 章節 10.5P 太字 (B)

文章 10.5P 通常

図表：本文中適切な場所に納めること.

図は、通し番号で Fig.1, Fig.2・・・と

して図の下方中央に、表も通し番号で

Table 1, Table 2・・・として表の上方中

中央に明記すること.

文献：本文中には引用箇所を右肩に文献番

号を付し本文末尾に 文献節を設け

て、番号順にまとめて記載する. 形式

は以下の通りとする.

参考文献

(雑誌の場合)

- 1) 著者名：表題、誌名、巻(号)、pp. xx
- yy, 西暦年.

(書籍の場合・単著／共著)

- 2) 著者名：書名、pp. xx-yy, 発行所、
出版地、西暦発行年.

(書籍の場合・分担執筆)

- 3) 著者名：題名、編者名、書名、pp. xx
- yy, 発行所、出版地、西暦発行年.

* 投稿された原稿は、研究会運営事務局による研究会趣旨に適合するか否かだけのチェックに止まりそのまま掲載されるので、提出以前に推敲を十分に重ねておくこと.

5.3 投稿料

投稿料・予稿集料・別刷り等の費用および納入については当該研究会運営事務局の裁量による.

6. 問い合わせ

当該研究会については、当該研究会運営事務局へ、年間行事としての研究会の問い合わせは、以下の主催側事務局窓口へ

聴覚コミュニケーション研究部会 幹事会
水浪田鶴 (産総研) taz-mizunami@aist.go.jp

参考文献

- 1) 日本人間工学会編集委員会：「人間工学」誌投稿規定、人間工学、Vol.42、No. 2、pp. 157-159、2006).

(以上)